

熊建労5400人の力を合わせた

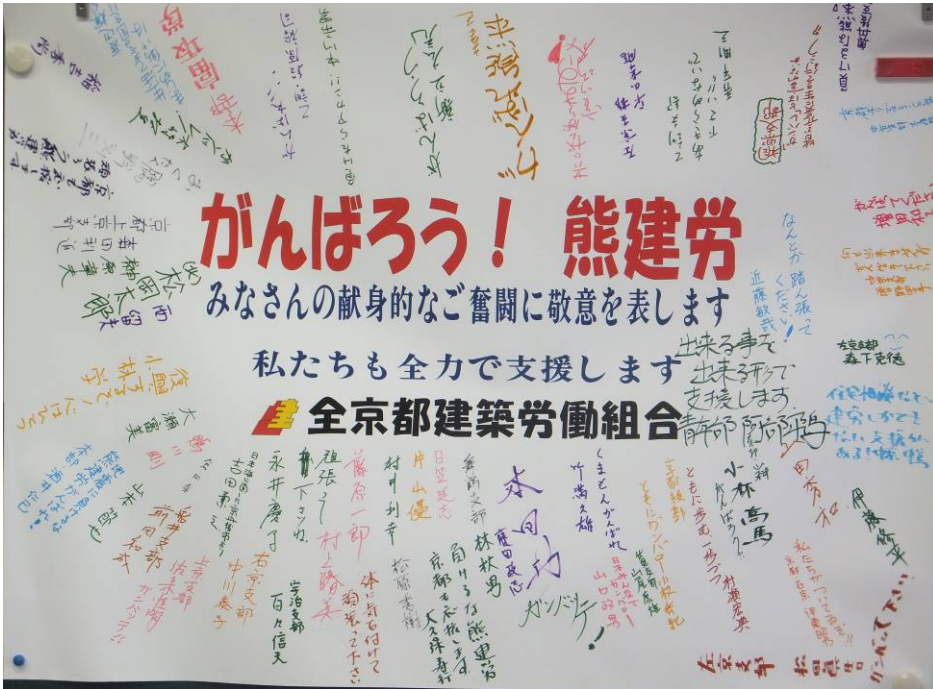
熊本地震救援ニュース

2016年6月2日(木)

第25号

発行 村上久義教宣部長
TEL096-283-7811

全京都の仲間から寄せられたメッセージに励まされ 1日も早い復興を誓う



全京都の仲間から送られた手書きの寄せ書き



全京都の仲間を交えた
ボランティア前の打ち合わせ

福建労主婦の会が義援金とお土産を持って 「もっとわがまま言って」 大戸会長が激励



熊建労千原会長に義援金を手渡す福建労大戸会長



福建労主婦の会の7人と菅書記長
左は端は熊建労千原会長

	菊鹿	阿蘇	東部	西部	宇城	八代	計
ケガ	0	0	7	6	10		23
家 全壊	2	1	70	13	6		92
半壊 瓦・一部	11	9	447	50	140	10	667
地盤沈下 液状化		1 (川沿い)					1
土石流避難		4					4

(1) 被災地の状況

- 一部地域で水が出るとなっているが、濁った水の為飲み水にならない。
- り災証明の結果が出たが、納得できないので再調査を依頼した。

(2) 被災した仲間の要望（また地域住民からの引き続きの要望）

- 梅雨に向けてブルーシートを再度取りに来る方が増えている。
- 水・レトルト食品等の要望強い。

2、支援活動

(1) 支援

- 全京都建築労働組合（東山支部・宇治支部・亀岡支部・主婦の会）・大分県建設合同労働組合
福岡県建設労働組合主婦の会から支援物資が届きました。

(2) 週末ボランティア活動予定

- 福建労の仲間が、ボランティア活動で来熊予定

木造仮設住宅の着工始まる



氷川町の現場で初めての朝礼



棟上げまで終了していた山都町の現場

いよいよ木造仮設現場で仲間の就労がはじまりました。現場によって、どの工程から仲間が現場に入るのかは、違う場合もありますが、基本的には土台敷から就労する事になりますので、就労される皆さんは、準備をお願いします。また、地理が明るい現場ばかりではありませんし、交通状況も地震の関係でいつもと違う場合がありますので、就労場所の確認をしっかりと行って、朝礼に間に合うように現場に入るようにお願いします。

応急仮設住宅に関する業務は、県が行う事になっていますが、市町村に業務をお願いできる事から、今回については市町村が必要事務を行い、県が調整などを行っています。そのため、県と市町村は繰り返し協議を行い、調整をしていかなければならず、その他の災害全般に対応していかなければならない事から、着手に向けて想定より時間がかかっています。県も27日に、2500戸の仮設住宅を追加で建設する方針を打ち出すなど、状況が時間ごとに変わっている状況でもあります。